

NPO 法人

# 北見文連

会報 第7号

発行日：平成31年1月26日(土)

発行者：NPO法人北見文化連盟

理事長 平野 温美

事務局：北見市北4条東4丁目11-2

Tel.0157-22-0099

## 知ってもらう、見ってもらう

NPO法人北見文化連盟 理事長 平野温美



いよいよ  
よ平成最  
後の正月  
となりま  
した。時

代の区切りは心の区切りの助けとなり  
ます。ひとつの時代が終わる  
という意識は、その次に思いを  
めぐらせる力となる気がいたしま  
す。

今年の目標のひとつに、会員の  
皆さまの活動がより広く知られ  
より多くに見られる、を挙げたい  
と思います。

芝居に熱中している友人が、認  
知症予防には芝居がとても良いと  
教えてくれました。それは、「見る」  
より「やる」からだそうです。もっ  
と分かりやすく説明すると、認知  
症予防の大切な要点は三つ。まず  
人前に出る、人とコミュニケーション  
をとる、そして人に見られ  
るを意識する。なるほど。でもこ

れは認知症予防に留まらず、誰に  
でも当てはまる、心身の健康のた  
めの要素かもしれません。

だれもが舞台に出てお芝居をす  
るわけにはゆきませんが、参考に  
することはできるような気がしま  
す。何かの活動をすること、それ

を通して仲間たちとコミュニケー  
ションをとること、そして多くの  
人に知ってもらい評価してもらう  
こと。これは、文化連盟の皆さん  
の活躍そのものではないでしょう  
か。広く知られ見られることを目  
標にしたいと言ったのはそのため  
です。

ということ、まず、それぞれ  
のジャンルや立場で共に頑張りま  
しょう。この地域の文化力はみな  
さんにかかっています。

理事長	平野 温美	(北見文学会)
副理事長	大場 稔康	(北見写真協会)
副理事長	五十嵐礼子	(北見音楽団体協議会)
専務理事	角田 優	(北見市民謡協会)
会計長	渡辺 清治	(オホーツク岳風会)
理事	塩浜 郁夫	(北見写真協会)
理事	荒木 洋子	(グループ・空)
理事	田尾勢津子	(踊翠流剣詩舞鶴双会)
理事	今本 一成	(北見文学会)
理事	金山真由美	(北見書道連盟)
理事	加藤 幸子	(清踊会)
理事	高橋千恵美	(北見市華道連盟)
理事	松本美年子	(オホーツク岳風会)
監事	扇谷みつ子	(劇団河童)
監事	大沼 富子	(北見音楽団体協議会)

第44回文芸北見賞決定

『佐呂間町栃木歌舞伎の盛衰』、『梶の神様』他作品が受賞

投稿者数百六十三人、創作・随筆・詩・短歌・俳句・川柳と多岐にわたる』内容となっており、充実した内容の文芸北見四十八号が完成し、十月八日(月)文芸北見合評会及び授賞式が開催され、オホーツク管内の文芸活動の向上に



文芸北見賞受賞者の皆様

貢献をしている。

第44回文芸北見賞授賞式・合評会

十月八日(月)市民会館に於いて、『文芸北見第48号』にご投稿いただいた優れた作品に「文芸北見賞」の授賞式が行われ、その後オホーツク地域の文学作品のレベルアップのために、投稿作品の合

評会を部門で毎に別れて行なつた。

北見賞受賞者

- 創作「梶の神様」松岡美雨(北見市)
- 郷土史「佐呂間町栃木歌舞伎の盛衰」岡田祐一(札幌市)
- 短歌「春夏秋冬」松岡美雨(北見市)

見市)

俳句「雛納」藤沢直美(北見市)

- 市)、「平和主義」河合隆(北見市)
- 川柳「大樹の花」鳥井茂子(北見市)
- 「佳き日」森下佐智子(北見市)
- 「心の駅」山本容子(美幌町)



オホーツク紅舞踊会の「きよしのズンドコ」

昭和53年「北見競馬場」から

今年で40回目の「飲んで食べて文化を語る」

地域の文化活動に関心が高く理解ある市民約五百名と市議会高橋議長及び教育委員会社会教育部長佐々木様をはじめ生涯学習課の皆さま多



数のご来場をいただき交流を深め、盛大に開催することができました。当日は、北見バス株式会社様より特別賞(ドリーミントオホーツク号札幌往復乗車券)のご提供と会員より芸術性の高い作品三十一点の提供もあり、一般景品と併せて抽選会も大いに盛り上がりしました。



# 平成最後の「芸術の秋」 様々な演出や舞台構成で観客を魅了

総合芸術祭が、十月十四日の美術展を皮切りに市民会館大ホール舞台部門の十一月三日まで行われた。全国にも引けを取らない作品や舞台演出であり大勢の観客を魅了した。



オホーツク岳風会北見支部の皆様による構成吟「大西郷」

【展示部門】北網圏北見文化センター

◎美術展十月十四日(日)～二十日(土) 入場者数九八六八人、出品数二〇一点(絵画一〇八点・水墨画四十点・工芸五三点)  
◎書道・写真展 十月三日(火)～二八日(日) 入場者数五六四八人、出品数百六十四点(書道七十五点)



書道写真展の会場 (写真:伝書鳩提供)

【舞台部門】北見市民会館十一月三日(土・祭)

写真八十九点  
◎姉妹都市(高知市)交流作品展 十月十四日(日)～二八日(日)  
◎北見市民会館十一月一日(木)～三日(土) 入場者数一三三〇名  
華道展、出瓶者五五名・市民文芸展 出展者九名・押花展 出展者二〇名・絵手紙展 出展者二八名

二十団体、百五十名の出演者が、日頃から練習に精進しその成果を披露し華麗な舞台となり、七四二名の市民にお出でいただきまし  
た。また、お茶会も・裏千家平山宗栄社中、玉川遠州流煎茶道中垣



女形を演じる小学生の男の子



来場者の方々に賑わうお茶会

社中のご協力を得て、満員盛況で四五〇名の市民がお茶席にご来場いただき市民の皆さまに楽しんでいただくと共に、伝統文化の素晴らしさを堪能していただき芸術の秋に相応しい一日となりました。

# 冬の土壌からの「文化花」

## 第51回北見文化賞授賞式

文化の普及と発展に永年尽力され、その功績が北見地域の文化史に確たる足跡をのこされた方、更なる活動が期待される方が授賞されました。



第五十一回北見文化賞授賞式十一月三日(土・祭)午後六時北見市民会館で行われた授賞式には、ご多忙の中ご臨席いただきました渡部眞一副市長様、飯田修司

市議会副議長様よりご祝辞を賜り、藤間芳利美社中の華麗な祝舞「初うぐいす」がご披露された。

志賀亮司教育長様の祝杯で盛大な祝賀会となり、受賞者それぞれのご披露もあり、出席者一同受賞者を祝福し今後とも地域文化向上のためご活躍下さることを願って幕を閉じた。

### 【北見文化賞】

黒沼 映流(書道)



二十歳から書道を始め、青沼秀鳳先生の教えにより実力を付け書道研究に努め、日本書道アカデミーの道内のみならず全国規模の展覧会に入賞。その後審



査員としても活躍。管内の書道教育にも熱心で、高校や小学校、こたぶぎ大学

等の書道講師務め、北海道書道協会や北見書道連盟の役員として、書道の普及発展に寄与しその功績は大である。

### 【北見文化賞】

佐藤 律子(華道)



昭和四十三年に家元池坊に入門し、昭和四十七年に池坊佐藤社中を設立。その後四十七年間の指導により多くの教授者を育成した。平成十八年には最高職「総華

督」を取得し、全道及び全国の花展に数多く出瓶。また、勤労青少年ホーム及びいけばな子ども教室の担当講師、北見駅活け花展示の奉仕活動等行っており、華道連盟副会長として活け花の発展普及に貢献している。

### 【北見文化奨励賞】

高橋 宜岳(吟道)



平成五年に岳風会北見支部に入会。平成二十五年にやよい吟詠会を設立し指導者として初心者育成指導にあたり、オホーツク岳風会常任理事として詩吟発展のために尽力している。また、ご自身の吟技向上の努力も怠らず、道予選を勝ち抜き全国大会に出場し数々の上位入賞を果たしており、詩吟の発展普及のため活動が期待される。



# 冬芽の魂

NPO法人北見文化連盟文化団体の活動を支援し、地域文化向上のための事業を行っています。

※ダンスコンサート《ジュン・フ イットネススタジオ》

○日時／八月十一日(土)

○会場／北見芸術文化ホール

各クラスメンバー達が、懸命に練習に取り組んだ成果を披露し、OBメンバーのまえみさんなどが



全国で活躍している方の個性あふれる作品を踊った。

※いけばな展《北見市華道連盟》

○日時／八月二十九日(水)から

九月一日(土)

○会場／JR北見駅構内



平成二十八年から始まり今年 は、多くの市民の皆様に見て頂ける様に北見駅構内を会場に「実りの秋」をテーマに幅約1.5m×約高さ2.5mの作品を制作し、六百四十名の方に作品を見て貰えました。 ※第五十八回吟道大会《オホーツク岳風会北見支部》

○日時／九月二日(日)

○会場／北見芸術文化ホール



高栄幼稚園児の元氣溢れる「ふうせん」の熱演で幕を開け、少年部や会員の独吟合吟、構成吟、

賛助団体の皆さんとのコラボによる吟を披露。多くの市民の観覧も得、盛会に開催。

※第七十八回国際写真サロン北見

移動展《北見写真協会》

○日時／九月四日(火)から九日

(日)



○会場／北網圏北見文化センター オホーツク管内で初めてとなる国際写真展を開催し、国内と海外三十九カ国・全国の写真愛好家の百五十七点を展示し約七百名の来場者の目を引いた。最終日には、佐藤時啓審査委員による作品講評を行い、市民との交流が持てた。

※市民のための和太鼓体験教室《北見オホーツク太鼓「青虎天真」》

○日時／九月三十日(日)

○会場／開成ふるさと工芸館

幼稚園児から大人まで多くの方が教室に参加して、基本の動作を練習した後に簡単な曲を演奏。

最後に様々な太鼓を自由に打

ち、参加者からは「とても楽しかった。」「時間があつたら今後ともやってみたい」の声があつた。  
 ※第二十回おさらい会《日本民謡舞踊会》  
 ○日時／十一月十日(土)



○会場／北見芸術文化ホール  
 当日は、天気に恵まれ新潟県「おけさぶし」の穏やかな民謡舞踊から始まり「千本桜」や「花笠音頭」など二十一曲を踊り満員御礼のお客さんを短い秋の季節を楽しんだ。



民謡・歌謡チャリティショー

※民謡・歌謡チャリティショー  
 《北見市民謡協会》  
 ○日時／十一月十八日(日)

○会場／北見市民会館  
 会員らが練習の成果を披露。子ども民謡教室や子ども会員の元気な歌声にはひととき大きな拍手が贈られた。また、太鼓合奏、三味線合奏を披露し伝統文化を普及することができた。

※きたみ市民音楽祭「わくわくコンサート」《北見音楽団体協議会》  
 ○日時／十二月九日(日)  
 ○会場／北見市民会館  
 年末恒例の音楽の祭典。今年は



北見合唱連盟が創立60周年を迎えたこともあり、合唱中心のプログラムを用意しました

た。また、チームオペレッタは結成10年目の公演となり、オリジナルの「宝島」を披露しました。  
 ※油彩風景画展《グループ・空》  
 ○日時／十二月十二日(水)から十六日(日)

○会場／パラボ六階市民ギャラリー  
 欧州などの美術展で入賞・入選を受賞した「しばれ画」など会員ら二人の油彩風景画など約三十点を展示し、約四百名の来場者が足を止め鑑賞した。絵画教室では八名が参加し油絵等を学んだ。

※北見LC若獅子新春子ども書き初め大会《北見書道連盟》  
 ○日時／一月十二日(土)  
 ○会場／北見市立体育センター

幼稚園児から高校生まで約百三十人が参加し、北見書道連盟会員の先生方から指導を受けて、大きく元気な文字を大筆で書いていた。

